

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	1	
事業名	環境衛生経費	会計 一般	款 4	項 1	目 4
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 町内における環境測定結果の報告及び「桑名・員弁広域環境基本計画」の内容を協議するため、東員町環境審議会を開催する。 町内の環境美化運動を実施した団体に報償金を交付するなど、まちづくりの美化活動が活発に行われるよう継続して支援する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	環境活動団体数	47			団体	↑	50	
2	公共施設のCO ₂ 排出量	2,736			t-CO ₂ /年	↓	2,457		
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			4,411		4,942	4,950			
財源内訳	直接事業費 A		2,035		1,774	792			
	うち一般財源		2,035		1,774	0			
人件費 (千円) B			2,376		3,168	4,158			
内訳	一般職員 (人・千円)		0.36	2376	0.48	3168	0.63	4158	
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
				コストの削減	A削減の余地はない	
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	クリーン作戦委員会がR2年度で廃止となったため、委員会が行っていた環境啓発活動について、今後は行政から情報発信していく。また、環境美化報奨金制度が令和3年度で廃止となるが、地域コミュニティ再生応援交付金を活用していく。	③取組の課題	町内企業及び住民の参加で行ってきた環境美化活動が、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため実施できなかった。
②R3年度に実施した取り組み	三和小学校及び笹尾東4年生に対しごみの行方及びバッカー車の仕事と仕組みについて環境学習を実施。また、三和小学校及び稲部小学校4年生に対して資源ごみストックヤードにおいて、資源ごみがリサイクルされる仕組みについて環境学習を実施した。	④今後の改善計画	環境美化報奨金制度が廃止となるが、自治会が行う環境美化活動に対してごみ袋の配布及びごみの回収など活動の支援は継続していく。